

常陸大宮市は、6つの宣言をしました!

市では、合併以前の各種宣言を見直し、今後のまちづくりの指針とするため、新たに6つの宣言を制定しました。この宣言が掲げる理想的なまちの姿を目指し、広く市民の皆さんとともに取り組んでいきます。

核兵器廃絶平和都市宣言

青くすみきった空、那珂川や久慈川をはじめとした清らかな川の流れ、そして緑あふれる山々。この豊かな自然の中で、平和で安心して暮らせることは、市民すべての願いです。

このようなわたしたちの願いに反し、核兵器の存在は、世界平和に深刻な脅威を与えています。

わたしたちは、世界で唯一の被爆国民として、再び「広島」「長崎」の惨禍が繰り返されることのないよう、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を強く願わずにはいられません。

よって、本市は、市民の平和を願う心を結集し、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

環境にやさしいまち宣言

わたしたちは、豊かな緑と那珂川や久慈川の清流など、自然豊かな環境のもと健康で文化的な生活を営んできました。

近年、豊かな生活ができるようになった反面、廃棄物の増加や生活雑排水による河川の汚濁などのさまざまな環境問題が起きてきました。また、化石エネルギーの大量消費は地球規模の深刻な環境問題を引き起こしています。

わたしたちの暮らしや行動様式が自然や生活環境に大きな影響を与えていることを考え、市民、事業者、行政が相互に協力・連携して、豊かな自然環境を保全し、将来世代に引き継いでいくために、ここに「環境にやさしいまち」を宣言します。

福祉と健康のまち宣言

わたしたちは、「住みなれたぬくもりのある地域で心身ともに健やかに暮らしたい」と心から願っています。

核家族化、少子化、高齢化が進むなか、子どもから高齢者、障がい者の誰もが安心して暮らしていくためには、人と人とのつながりを大切に、思いやりの心を持つ地域社会を築いていく必要があります。

本市は、この豊かな自然にめぐまれた地域の中で、市民一人ひとりがお互いを尊重し、ともに助け、支え合い、健康で幸せに暮らせる福祉のまちを目指して、ここに「福祉と健康のまち」を宣言します。

覚せい剤等薬物乱用のないまち宣言

全国各地で「ダメ。ゼッタイ。」を合い言葉に「国際麻薬撲滅運動」が展開され、茨城県においても薬物乱用の防止のため関係機関が連携を図りながら諸活動を展開しています。

この問題は、薬物の蔓延につながる乱用者個人の問題もさることながら、乱用者自身が引き起こす二次的犯罪の発生も懸念され、平穏な市民生活を脅かす心配もあります。

わたしたちは、関係機関・団体と力を合わせ、かかる事態を根絶し、安心して暮らせるまちづくりを推進するため、ここに「覚せい剤等薬物乱用のないまち」を宣言します。

租税完納推進のまち宣言

地方分権が進む中で、本市が地域の個性や資源をいかながら自主性・自立性・独自性をそなえたまちづくりを推進するためには、将来にわたって安定した行政運営を展開できる財政基盤の確立が重要です。特に市財政の根幹をなす自主財源において税収の確保は不可欠であります。

わたしたちは、国民の納税義務を再認識して、自主的に申告し、納期限までに完納する義務を積極的に果たさなければなりません。

市民一人ひとりの納税意識の高揚を図り、豊かな住み良いまちづくりを進めるため、ここに「租税完納推進のまち」を宣言します。

ゆとりある安心・快適なまち宣言

市民が、日々の生活にゆとりを持ち、安心・快適な安らぎのある生活を送ることは人間性豊かな社会の構築にとってきわめて重要です。

安心して快適に生活できる生活環境の充実と働く場の確保、健全な職場環境の整備を図り、すべての市民が心身ともに健康で、ゆとりをもって生活できる地域社会を築くことは、わたしたち市民の願いであるとともに将来世代に対する責務と考えます。

そこで、本市では、これをまちづくりの基本と位置づけ、市民・事業者・行政が共通の認識を持って協力し、実現していくため、ここに「ゆとりある安心・快適なまち」を宣言します。